

# ともしえ

No. 20



■函館商工会議所報■

1982 5月号

親しめる、頼れる、  
みんなの商工会議所

百聞は一見にしかず

テーオーハウスから  
自信をもって贈る……

# 建築現場公開 随時公開中

午前10時～午後6時

必見のチャンス!

★会場ご案内図★

●ご質問大歓迎!ご家族連れでお気軽にお越し下さい。

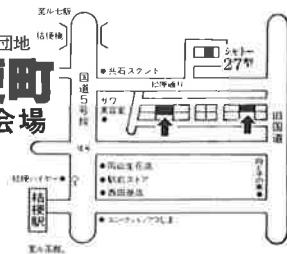
●第17次さくらヶ丘団地

**神山町**  
会場



●第15次  
さくらヶ丘団地

**桔梗町**  
会場



**旭岡団地**  
会場



★テーオーハウスの  
旗を目印に  
お越し下さい!



今回の有利な公庫を利用して夢のマイホームを実現!  
**住宅金融公庫受付中**

●5月31日まで●

●お問合せは…

**51-2688**

(本通町モデルハウス)

一級建築士事務所・建設大臣許可(特-56)第9643号



**手づくりの家・注文建築**

建設大臣免許(1)第2713号

**(株)テーオーハウス**

函館市富前町3-13 ☎42-6811 代表取締役社長 小笠原 金 悦  
青森支店 青森市大字浦町字奥野354-8 ☎(0177)74-2411

# 巻頭言

「テクノポリス函館」基本構想が出来上りました。―歴史と伝統にはぐくまれた国際性がひらく北方圏型テクノポリスが統一理念です。

テクノポリス圏は函館、上磯、七飯、大野の一市三町で設定され、母都市函館は都市機能集積を備え、定住志向の強い都で、開港以来進取の気性と自由な精神風土を培った伝統ある国際性がなお息づいており、新たな地域づくりへの適応力に富んでいます。生活圏内には海洋、湖沼、山岳、温泉など豊かな大自然を有し、レクリエーション、保養機能が全国的にみても卓越していると評価されており、

立地環境としても、用地、地質、地価水準に恵まれており、電力エネルギーも知内火力発電、森地熱発電など安定供給体制が整備されつつあり、知識、技能に優れた労働力も豊富です。また青函トンネル、新幹線、高速自動車道など国土幹線交通網の整備が進展しており、もちろんジェット空港も将来三〇〇メートルを計画中です。水資源も頗る豊富であり、降雪量も少なく温暖な地域です。

土地利用構想案として「テクノポリス区メインゾーン」「海洋関連ゾーン」「国際交流、保養、レクリエーションゾーン」の分散方式を採用し、新技術センターを中核とした海洋関連、社会開発、資源活用用の三つの産業群で、基幹産業と高度技術産業との連係をとりながら地域産業の振興を図るという計画です。

本構想は通産省からも高く評価されており、合格間違いなしと信じておりますが、なお開発構想を整え、進出企業の誘致には今から総力を挙げて努力することが急務です。第二次産業二二%を先ず三〇%に押し上げる原動力は、函館圏の「活力」に期待すべきであると思えます。

## 目次 ● ともえ 1982 5月号 No.20 ●

巻頭言	1
会議所だより	2~5
○道南商工会議所連絡協議会	
○農水産部会	
○議員懇談会	
○日商第299回常議員会	
○第36回国民珠算競技大会・第14回全国小学校珠算競技大会	
○函館優良土産品審査会・推奨会	
○観光サービス・運輸貿易倉庫部会合同会議	
調査レポート	6~9
○金融経済概況(3月)日本銀行函館支店	
○統計資料 大型店売上高(3月)	
○経済の窓 函館における中小企業景況調査報告(昭和57年3月)第4・四半期	
アドバイスコーナー	10~11
特別寄稿文	中国を旅して(2) 平沼智子 12~13
ご存じですか	14~15
商業統計調査に対する協力お願い	16
ご紹介	17~18
○新入会員ご紹介	
○振興委員プロフィール	
○函館地方左官業協同組合	
事務局日誌(4月)	19
相談所だより	19
ティータイム	20~21
告知板	22



# 会議所

## だより



### 全道商工会議所大会提出議案決まる

#### 不況対策の推進など八項目

道南商工会議所  
連絡協議会

道南商工会議所連絡協議会（道南ブロック会議）が、去る四月二十八日日本所で開かれました。

当日は、浦河・苫小牧・登別・室蘭・伊達・森から各専務理事が、また本所からは社会頭・加藤専務理事ほか事務局が出席し、来る六月十七日に開催される第三十二回全道商工会議所大会（於旭川市）に提出する議案



道南連絡会議

について、各地の現状把握を行いながら協議され、本所からは次の八項目を提出することに決定しました。

#### 一、不況対策の推進について

我が国の経済は、財政再建策や物価安定を最重要課題とした抑制政策の結果、在庫調整も終え、物価も四％以下に落ち着いたものの、依然景気は低迷している。

特に北海道経済を支える公共事業投資は引続き抑制され、極めて厳しい状況下であり、各産業間の需要も低調で、このことから中小企業においては、経営危機をまねくなど倒産も高水準に達している。

これらを打開し活力ある経済活動を展開するため、次の諸施策の推進を要望。

- ◎建設国債発行による公共事業の拡大。
- ◎内需の喚起と住宅建設の促進。
- ◎地元中小企業への優先発注の促進。
- ◎公定歩合の引下げと資金調

達の円滑化。◎赤字国債五十九年度解消を経済景況をみながら延長すること。

#### 二、大型店の対策強化について

大店法の運用改正に伴い、出店傾向は一応鎮静化の方向にあるが、一方では既存店舗の文化催事場、踊り場等、売場面積以外の面積を売場面積に転用する傾向にあることを踏まえ、監督官庁の行政指導を要請。

#### 三、「テクノポリス函館」の早期実現について

テクノポリス早期実現方に向け、既に全道的な支援体制は確立されているが、今後は開発構想に取り組みこれをもとに指定実現を目ざし、なお一層の支援体制を要望。

なおこのほか、◎函館空港の整備促進。◎青函トンネルの有効活用促進。◎北海道新幹線の建設促進。◎北海道縦貫自動車道の建設促進。◎国立函館複合大学の誘致促進等については昨年同様に提案する。また道南ブロック会議所からの提案については、北海道商工会議所連合会で全道一括調整して全道大会に諮ることになっていきます。



未利用魚の加工試作品を試食する工業者ら

未利用魚の商品化を研究発表 函水試

加工業者ら八十余名が注目

農水産部会

本所農水産部会では函館水産連合協議会と共催し、去る七月五日函館水産試験場の竹谷加工部長ら研究員五人を招き、同水試で研究している水産物の利用加工品の研究成果の発表会を行いました。

いまや当市製造品出荷額の主軸をなす水産加工業界だけあって、当日は八十人を超す出席者があり終始熱心にメモをとりながら研究員の説明に聴き入っておりました。

発表された研究項目は次のとおりです。

- ◎処理加工技術に関するものとしてコンブの色素、粘性等、◎エゾイソアイナメ(通称ドンゴ)、ブナザケ等未利用魚の加工技術、◎高次加工技術として「さきいか」のイカの種別特性、イカ塩辛の腐敗防止。
- 説明終了後、会場を隣室に移し同水試提供の試作品(コンブ麵、エゾ

イソアイナメの塩乾製品、同焙焼ロール製品、ブナザケに燻製技術を用いた製品)を試食しました。

出席者の大半は永年水産加工にたずさわっている専門家だけに、未利用魚の今後の商品化を頭に描きながら、じっくりと味わっているようでした。また、こんぶ麵については戦後の食糧難時代に食べた海宝麵を思い出してか、年配の方々の試食が目立ちました。

水産加工業界が研究機関とともに常に新製品の開発に取り組んでいる姿勢は、地域経済振興に大きな力になるものと期待されます。

テクノポリス函館

地域特性を生かした構想

市企画室長

本所議員懇談会で説明

意見の交換が行われました。

「テクノポリス函館」の基本構想の概要説明と、本所テクノポリス建設促進特別委員会の今後の活動の指針を検討するため、五月十日に議員懇談会が開催されました。

当日は、市から柴田企画室長、井上同次長が出席し、また本所から議員・役員約四十人が出席して活発な

まづ柴田室長、井上同次長から、市が三菱総合研究所に委託して今年三月末に完成した基本構想について「テクノポリス函館」は、歴史と伝統にはぐくまれた国際性が開く北方圏型テクノポリスとし、その圏域は一市三町とする。また基本構想の柱

は、①海洋開発②社会開発③資源活用④の三つの産業群(インダストリアル・コンプレックス)とし、圏域の将来的な位置づけは①自立経済への貢献②機械・金属加工型工業の導入③北海道・北方圏資源の活用であり、地域の特色を十分に出したものとする。その概要を説明しました。次いで質疑に入り、「現在地元企業でI・Cを組み込んだ製品を生産しているが、この部品は九州から調達している状態であり、早い機会に地元から調達できる体制が望ましいのではないか」「高等技術を駆使するためには、これに対応できる優秀な人材づくりが肝要であり、工業技術センターのような研究機関が必要ではないか」など活発な意見が出され、これに対し市側から「現在の工業試験所を昇格し、巾広く産業に対応できるように機能をもつ工業技術センターの設置について検討しており、近く基本構想を策定することになっている。また人材の問題については、かねてから誘致運動を展開している国立複合大学の促進と併せ既存の高等教育機関の拡充を図ることにより解決できる」など具体案が示され懇談会を終えました。

日商第二九九回常議員会を開催

G・カード制度の実施延期を要望

日商常議員会及び委員会が、去る四月十九・二十日東京商工会議所で開催され、本所から加藤専務理事が出席、経済政策・税制合同委員会で「グリーンカード」制度の実施について種々協議されました。

この制度は本来不公平税制是正の目的達成のために立案されたものであり、商工会議所としてもその趣旨には全面的に賛成しておりますが、最近の情勢をみると①不公平税制の実効が確保されない。②金やゼロ・クーポン債（外貨建ての割引債）などへの資金移動により海外へ資金が流出し、金融構造の変化を招いて、中小金融機関の資金繰りが悪化、金融を逼迫させる。③行財政改革が検討されている折から新たな行政コストがかかり、また手続きの不便があるなどの問題が懸念されるとして、本制度の実施を相当期間延期するとともに、よりよい税制の確立につい

て関係当局の慎重な検討を要望すべくとしました。引続き常議員会でも同様の趣旨で近く関係機関に要望することになりました。

グリーンカード（少額貯蓄等利用者カード）制度とは、現在既に非課税貯蓄制度があり、マル優、特別マル優（財形貯蓄等）、郵便貯金のそれぞれ三百万円までの貯金に対する

利子については非課税ですが、これを超える貯蓄の利子については、他の所得と合算し確定申告をする総合課税と、利子を受取った際に三五%の源泉徴収される源泉分離課税のいずれかを選択する方法があります。しかしこれら優遇税制を改め、課税の公平から利子、配当所得ともすべし総合課税に移行し、そのためにも少額貯蓄名義を明確にして管理しカードを交付するものです。本制度の実施については、昭和五十五年度の税制改正で、同五十九年度から実施するとしています。

国民珠算・全国小学生珠算競技大会開催

去る四月二十五日、第三十六回国民珠算競技大会道南地区予選ならびに第十四回全国小学生珠算競技大会（道南会場）が、函館会場（本所）と苫小牧会場の二カ所で開催されました。

大会は道南七商工会議所管内に在住する選手が参加して、国民珠算競技大会二十三人、全国小学生珠算競技大会九十二人がそろばんの腕を競い合いました。

競技の結果、両大会における道南一位の座は次の通り決定しました。

◎国民珠算競技大会道南地区予選鈴木真弓（苫小牧 西高）

◎全国小学生珠算競技大会（道南会場）貝森淳子（苫小牧美園小）

北海ルーフ式屋根工事責任施工

営業品目

- 折版長尺屋根工法ルーフ150 ●横葺長尺屋根工法スカイルーフ
- 寒冷地向円筒型長尺屋根工法S-60 ●葺き替え長尺屋根工法オメガルーフS-50

株式会社 北海ルーフ鋼鈑

本社・工場 函館市港町3丁目18-36 ☎(0138) 41-4481(代)



観光土産品をチェックする審査会

# 「観光函館」のイメージアップに

## 函館優良土産品審査会開催

「観光函館」のイメージアップはまずお土産品から」と本格的な観光シーズンを前に土産品の審査会が四月二十二日、本所で開催されました。この審査会は、業界の自主規制団体、「みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会」が例年行っているもので、消費者協会、公正取引委

員会、保健所等の代表ら11人が審査委員となり法規の遵守はもとより、観光客の観点に立って、上げ底や過大包装、不当表示がないか表示事項が守られているかなどを厳しくチェックしました。その結果、改善を要

## ときわ木旅館跡地(湯川)利用など

観光サービス  
運輸貿易倉庫

## 部会合同会議で協議

去る四月二十六日午後から、本所で観光サービス部会、運輸貿易倉庫部会の合同会議が開かれ、①湯川温泉ときわ木旅館跡地利用②函館・大阪間航空路線再開等の問題について協議しました。

ときわ木旅館跡地利用については、跡地面積約六百坪(うち百二十坪は市が買取り現在さら地となっており。残り約四百八十坪は市有地)と、同地に隣接する市有地約四百坪を合せ総体で約一千坪の土地を利用しよ

するもの二点(農水産品)、更に検討を要するもの三点(農水産品)、改善の余地があるもの(菓子十二点、農水産品七点)が指摘され改善指導を受けました。協議会ではこれらの商品のうち、合格あるいは改善されたものに対し、二年間の有効期限つきで「優良土産品認定シール」を貼付することを認めております。従って、このシールの貼ってある商品は観光客に安心してお奨めできる観光土産品といえます。

うとするもので、かねてから市が関係団体に意見を求めており、九月頃までに具申したものを検討して計画を策定することになっております。このたびの合同会議の結果、本所内に小委員会を設けて検討することになりました。函館・大阪間航空路線再開については、昭和四十七年九月から休止になっているものを、当市の経済振興の立場から本所としても市と一体になり再開にむけ陳情活動を積極的に進めてゆくことになりました。

### 空港ビル直営店

# ポルックス

函館空港ビルディング株式会社

代表取締役社長

田中誠一郎

2階  
出発ロビー

レストラン  
売店

1階到着ロビー  
2階  
ホールドルーム

喫茶

3階

星のロマンを語る  
プラネタリウム館

人預金も企業の借入圧縮のための手許取崩し等から伸び悩んだ前年度を大幅に上回る増加をみたため、年度間増加額は552億円と前年度(同333億円)を大きく上回った。

一方貸出は、建設関連の着業資金を中心に一般企業向けがかなりの増加を示したほか、地方公共団体向け融資も増嵩したため、月中増加額は205億円と前年(同128億円)を大幅に上回った。

56年度中についてみると、企業需資は年度前半は今一つ盛上りに乏しいまま推移したものの、年度末にかけて建設関連筋の季節需資や鋼材、自動車ディーラー等の運転需資が増加したほか、一部卸・小売等で売上げ不振に伴う在庫資金等後向き需資も増加傾向を示すなどやや盛上りを示し、加えて地方公共団体向けも増嵩したため、年度間増加額は316億円増と前年度(同164億円)を大きく上回った。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、3月中-0.127%の大幅低下(55年8月以降の低下幅累計-1.043%)。

○3月中の銀行券は、国鉄の期末手当支払が

4月にズレ込んだこともあって月末にかけての増発が低調であったため、月中発行超額は7億円と前年(同15億円)を下回った。

なお、56年度中では、観光客の入込み低調や郵貯の伸悩み等から還収超額は190億円と前年度(同211億円)を下回った。

○3月中の財政収支をみると、租税の受入れが申告所得税の減少を主因に前年をかなり下回ったものの、反面簡保貸付の回収が嵩んだほか、雇用保険給付金が支払方法の変更(同給付金の支払は昨年7月から一括札幌に集中)により大幅な減少をみたため、月中受超額は65億円と前年(同37億円)を大きく上回った。

なお、56年度中では、上記のとおり雇用保険給付金が支払方法の変更により大幅な減少をみたほか、租税、保険等の受入れも前年度を上回ったが、一方郵便局が郵貯の伸悩みや各種年金等諸払増から前年度とは様変わりに払超となったうえ、公共事業関係費や国鉄の支払もかなり増加したため、結局年度中払超額は350億円と前年度(同310億円)を1割強上回った。以上

## 統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高 (10店) 昭和57年3月

品 目	売 上 高 (千円)	対 前 月 比 (%)
衣 料 品	3,008,183	154.1
身 回 品	614,223	178.6
雑 貨	729,513	140.3
家 庭 用 品	682,344	146.3
食 料 品	1,640,840	120.6
食 堂 ・ 喫 茶	216,958	133.4
サ ー ビ ス	65,431	148.1
そ の 他	209,105	148.3
<b>総 額</b>	<b>7,166,597</b>	<b>143.6</b>

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパーズプラザ湯の川店の各店をいう。テーオー小笠原については食料品を扱っていない。



3月

昭和57年4月27日発表

## 金融経済概況

## 日本銀行函館支店

## 1. 概況

- 最近の管内経済動向をみると、合板機械がフル操業を継続しているほか、造船、製缶・缶詰機械もこのところ新規受注は停滞気味ながら当面は既往受注残消化のため高操業を持続。また、漁網も生産最盛期のサケ・マス流し網を中心に高水準の生産を続けているほか、段ボール箱も荷動きが幾分活発化。反面セメント、合板等建設資材は実需低迷から総じて低調な生産、出荷を余儀なくされているほか、飼料、珍味も需要が盛上りを欠いているため荷動きは不芳。一方、個人消費面をみると、乗用車販売は新型車投入効果もあって3か月連続前年を上回ったものの、家電製品の荷動きや大型小売店の売上げは低調に推移。このように管内景況は一進一退の動きを続けており、今一つ盛上りには乏しいものの、企業倒産が前年をかなり下回っていることもあって、一頃よりは落ち着き気味に推移している。
- 金融面をみると、3月中の管内金融機関の実質預金は、法人預金や公金預金の増嵩から前年をかなり上回る増加。一方貸出は、建設関連の着業資金、地方公共団体の財調つなぎ資金等を中心に前年を大幅に上回る増加。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は前月をかなり上回る低下をみた。

## 2. 産業界

- 実体経済の動向を主要産業別にみると、合板機械が堅調な受注を背景にフル操業を継続しているほか、造船も新造船需要が停滞気味に推移しているものの、当面は既受注

船の建造を主体に高操業を持続。また、製缶・缶詰機械も新規受注はやや低調ながら、既受注分の納期に追われフル操業を続けているほか、漁網も生産最盛期のサケ・マス流し網を中心に引続き生産は高水準。さらに、段ボール箱も水産物、生鮮野菜向けを中心に荷動きがやや活発化。

これに対し、セメントは需要不振を背景に引続き生産を抑制しているほか、合板も実需低迷から出荷は低調で、つれて市況も軟化。また、飼料も荷動きが停滞しているほか、珍味加工も花見需要が今一つ盛上りを欠いているため、生産、出荷とも低水準。

- 1次産業面をみると、ニュージーランドイカ漁は漁獲量では前年並みながら、イカ在庫が低水準にあるうえ夏場以降のマイカ漁の予測がつかないことから、全般に価格が上昇気味、水揚げ額では昨年を大幅に上回る見込み。一方日本海マス漁は、不漁年に当るうえ水温が幾分低目とあって魚体は小振りで出足はやや不調の模様。
- 個人消費面をみると、大型小売店では前月まずまずの売上げをみせた春物衣料品に衣服感が窺われたほか、家庭用品、食料品も進入学関連商品の出足が鈍く盛上りに欠け、3月中の大型小売店売上高（8か店）は、前年比5.2%減と前月（同1.9%減）に比べ落込み幅が拡大。一方、耐久消費財をみると、家電製品はVTRを除き総じて停滞気味に推移しているが、乗用車新車登録台数は前月来の新型車投入効果に加え、決算月とあってディーラー筋の拡販努力もあり、小型車、大衆車を中心に前年比15.6%増と3か月連続前年を上回った。

## 3. 金融事情（3月および56年度中）

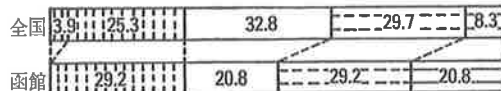
- 管内金融機関の実質預金は、一般預金が法人要求払預金中心に前年を上回る増加を示したほか、公金預金も交付金の流入増等から積上りをみたため、月中増加額は258億円と前年（同200億円）を3割方上回った。

また、56年度中でみると、個人預金が新型期日指定定期預金の導入もあって定期性預金を中心に順調な伸びを示したほか、法

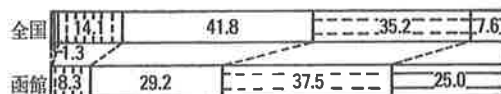
(家具を除く)業、窯業、土石製石業、金属製品業、一般機械器具業となっている。

今期採算では「好転した」8.3%「悪化した」62.5% (本市)「好転した」15.4%「悪化した」42.8% (全国)と両調査とも悪化割合が大幅なものとなっている。両調査共通の悪化要因には、需要停滞に伴う製品単価の低下・上昇難、原材料価格の上昇、諸経費の増加等があげられている。

売上 (加工額) 単位: % (対前年同期比)



採算 (経常利益) 単位: % (対前年同期比)



▷卸売業

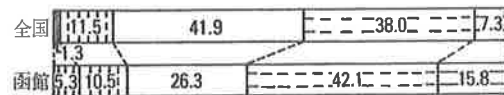
本市における企業の今期売上額を比してみると「増加した」57.9%「減少した」31.6%となり前期調査よりさらに上昇している。増加企業の理由では比較時点ベースが悪かったために今期の増加につながったとする企業がほとんどとなっている。一方、全国では「増加した」24.6%「減少した」45.0%と前期調査とは逆に減少割合が増加割合を上回っている。全国調査の結果では、増加割合の高い業種は医薬品・化粧品業、鉱物・金属材料業、逆に減少割合の高い業種は繊維品業、農畜産物・水産物業、食料・飲料業等となっている。

今期採算では「好転した」15.8%「悪化した」57.9% (本市)「好転した」12.8%「悪化した」45.3% (全国)と両調査とも悪化割合が上回っている。両調査共通の悪化要因には需要停滞に伴う販売単価の低下・上昇難、代金回収の悪化等があげられている。

売上 単位: % (対前年同期比)



採算 (経常利益) 単位: % (対前年同期比)



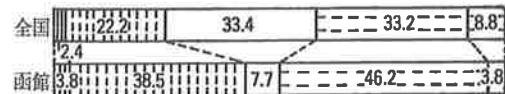
▷小売業

本市における企業の今期売上額を比してみると「増加した」42.3%「減少した」50.0%となり前期調査の前年同期比より大幅に回復している。前回までの調査

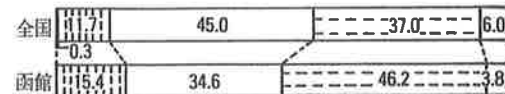
で著しく落ち込みの激しかった業界にとって増加割合が拡大したことは、とりわけ長期にわたり続いていた低迷状態を一步脱け出し始めたといえるようであるが、なお未だ半数の企業で減少が続いており心配されるところである。一方、全国でも「増加した」24.6%「減少した」42.0%と前期調査とは逆に減少割合が上回った。全国調査の結果では、増加割合が減少割合を上回った業種はなく、減少割合の特に高い業種は家具・建具・じゅう器業となっている。

今期採算では「好転した」15.4%「悪化した」50.0% (本市)「好転した」12.0%「悪化した」43.0% (全国)と両調査とも悪化割合が上回っている。両調査共通の悪化要因には購買力流出に伴う販売単価の低下・上昇難、経費の増加等があげられている。

売上 単位: % (対前年同期比)



採算 (経常利益) 単位: % (対前年同期比)

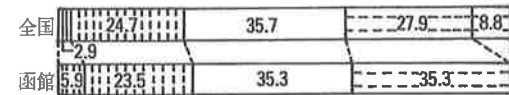


▷サービス業

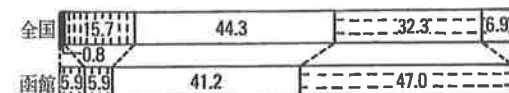
本市における企業の今期売上 (収入) 額を比してみると「増加した」29.4%「減少した」35.3%となり前期調査の前年同期比より回復している。一方、全国でも「増加した」27.6%を「減少した」36.7%が上回っている。全国調査の結果では、増加・減少割合がほぼ同割合になっている業種が多くなっているが自動車整備・駐車場業では減少割合が高くなっている。

今期採算では「好転した」11.8%「悪化した」47.0% (本市)「好転した」16.5%「悪化した」39.2% (全国)と両調査とも悪化割合が上回っている。両調査共通の悪化要因には利用料金の低下・上昇難、経費の増加等があげられている。

売上 単位: % (対前年同期比)



採算 (経常利益) 単位: % (対前年同期比)





# ピント

栄

# ぴんと

## 資金繰り

### とは

よく聞く言葉に「勘定合って銭足らず」とか「黒字倒産」とかがあります。これは、損益計算書において利益を出しながら、資金繰りが苦しい、あるいは利益を計上しながらも倒産する場合のことをいっています。〳〵資金繰り〳〵とは、現金収支のバランスがいかによくとれているかを考え、また、示しているものです。従って、事業経営の資金会計の重要なポイントとなっています。

この資金繰りも、売上、利益、回

収、在庫、設備によって動かされています。

#### 1 売上

事業の売上は、資金繰りの中心となります。よく〳〵販売なくして事業なし〳〵と言われますが、売上の大い少ない企業の大小にもつながりませんし、また利益の多少につながるという過言ではないでしょう。売上代金が回収され、支払に回されるといったことが資金の流れの中心です。

#### 2 利益

利益は、事業を発展させるための資金のカテとなります。いくら売上が上がっても

- ①経費がかさんで利巾が少ない。
- ②原価は確保しているが経費が出せない価格で販売している。
- ③出血販売(投げ売り)をして原価を割っている。

ということでは利益が上がるどころか赤字になり資金を食いつぶしてしまうこととなります。

また、常識的なことです。借入金返済は、その資金源を利益でみることでしよう。従って利益は、事業を拡大する最大のポイントです。

#### 3 回収

この章の始めに「勘定合って銭足らず」という言葉を述べましたが、現在でもよく聞きます。その意味はたぶん回収困難による資金不足を指しているものといえましょう。

よくセールスマンに販売から回収まで責任をもたせている企業がみられる。売上、粗利益ともに順調であっても、月々売上高よりも集金が少ないといったことであれば貸し込みが多いことであり、回収率が悪いということでしょう。さらにそれが貸倒れにつながる恐れもあります。これでは資金繰りは成り立ちません。特に、製造業とか卸売業などの掛売の多い企業では、この回収がもっとも資金繰りを左右しましょう。



お酒によし…ビールによし…  
お子様のおやつに……

- いか・たら・たこ製品
- 世界の木の実類
- 各種豆菓子
- その他・高級珍味

おつまみ専門店  
**味の丸(株)**

新川町15-14 ☎代26-7211